



みんなで150周年に向かって！

入間川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和5年 9月 1金 No.6

狭山市立入間川小学校

〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9

TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 8 / 31 現在
491名

たくさんのお陰で

校長 伊藤 秀一

長い夏休みが終わり、いよいよ本日から第2学期がスタートしました。始業式を行う講堂には、刺激的な（本紙前号参照）42日間を過ごした日に焼けたたくさんの笑顔が戻ってきました。大きな事故やけが等なく、児童・教職員が一堂に会すことができたのは、けっして当たり前のことではなく、各ご家庭での健康管理や様々なご配慮等、そして地域の皆様の温かいご支援・ご協力があったからこそと、心から感謝申し上げます。また、今学期もどうぞ本校の教育活動に対して、ご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、その始業式についてですが、今回については特に感慨深く参加した教職員は、私一人ではないと思います。いつもの始業式と内容などは大きく変わるものではないのですが、今年の夏休み期間のほとんどを、校舎内の空調工事のために入間川中学校で過ごした我々は、小学校の校庭に遊びに来る子供たちの姿を目にすることができませんでした。

ですから、約1か月半ぶりに、小学校で子供たちと対面できた時には、「子供たちあつての学校」と改めて感じた次第です。

そのような、いつもとは違う場所で勤務に当たった夏休み期間ではありましたが、環境整備や所用のために小学校に行った職員から、「校庭の花壇や畑のお世話や除草をなさるご家族をお見かけした」、という報告が何度かありました。また、理科支援員の新井勉様もほぼ毎日早朝に校庭の植物の剪定や植え替え水やりなどなさってください、虫を飛ばそう会の方々はビオトープやその周辺の環境整備を定期的に行ってくださいしていました。そのお陰で、植物はよい環境の中ですくすく育ち素敵な花を咲かせ、畑の作物は美味しい実を実らせ、ビオトープでは澄んだ水の中で魚が気持ちよく泳ぎます。そのような環境は子供たちの学校生活をより豊かなものにしてくれます。

小学校を離れ、外から見つめることで、学校というところは様々な「お陰」で成り立っているのだということに改めて気付かされました。

本日の始業式でも、私はこの「お陰」の話を子供たちに紹介しました。そして、身の回りのたくさんの「お陰」に気付き感謝し、さらには自分も誰かの「お陰」になれるとよい、と述べました。これからも折に触れ話題にしたいと思っております。入間川小学校がたくさんの「お陰」に包まれることを楽しみにしております。

2年1組担任交代のお知らせ

2年1組の深江美樹教諭が、体調不良のため今年度末の令和6年3月31日まで病気休暇となりました。そのため、本日9月1日から新たに担任として伊藤由紀子主幹教諭が就くこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

